

福岡市 スポーツ推進委員だより



巻 頭 文

福岡市スポーツ推進委員協議会会長 水 崎 勉



梅の花の便りが聞こえる今日この頃、福岡市スポーツ推進委員の皆様には、日頃から地域スポーツの推進にご尽力されていることに敬意を表します。市民総合体育大会にはじまり、福岡マラソン、ソフトバンクホークス日本一パレード、国際マラソン等に協力していただき、感謝申し上げます。

12月8日には、第55回福岡県スポーツ推進委員研修大会を福岡国際会議場にて「みんなで描こう！福岡式スポーツ・レクリエーションの未来」をテーマに開催できました。その研修では、スポーツ共創体験、マルチチューブ体験、レク式体力チェック体験などを、県内のスポーツ推進委員に学んでもらい大成功に終わりました。それもひとえに新たな種目づくりに励んでくれた推進委員の方々の英知と、かねてより学んできたマルチチューブを使った健康体操やレク式チェックの研修の賜物と感じております。福岡市の推進委員が1つになつてワンチームで大会に臨むことができ最高でした。

2020年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催でスポーツ熱が高まる中、昨年からはスポーツビューフェに取り組みすることになりました。子どもから高齢者、障がいのある方など、様々な人たちにニュースポーツやスポーツ共創、体力測定などを体験してもらい、いつでも、どこでも、楽しくとものにスポーツをする喜びを一人でも多くの方に伝えることができたいと思っています。

これからも、福岡市スポーツ推進委員協議会はワンチームで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

第60回全国スポーツ推進委員研究協議会表彰

功労者表彰 城南区 鳥飼館区 福岡 洋治



昨年11月14～15日、三重県津市で第60回全国スポーツ推進委員研究協議会が開かれました。多くのスポーツ推進委員やスポーツ関係者が参加し、新たな時代のスポーツ文化の確立に向けてのシンポジウムが行われました。今回の全国大会で功労者表彰を頂き、スポーツ推進委員として学ばせて頂いた喜びを感じることができました。

スポーツの楽しさや喜びを通し、スポーツの価値をさらに向上させ、スポーツを通じた地域活性化を目指していきます。スポーツ推進委員の皆様や地域の諸先輩方に感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思っています。

スポーツ推進委員優良団体表彰 福岡市西区

全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会において、「全国スポーツ推進委員 優良団体表彰」をいただきました。

これは、今まで真摯に活動に取り組まれてこられた水崎会長をはじめ、諸先輩方の功績によるものと受け止めております。

これからもこの表彰を汚すことのないよう、西区メンバー一丸となり、推進委員活動に取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。

(文責 森山)

令和元年度 各種表彰等受賞者一覧

Table with 4 columns: Award Category, Recipient Name, District, and Recipient Name. Includes categories like '福岡市市民スポーツ振興奨励賞' and '福岡市スポーツ推進委員功労者表彰'.

Table with 4 columns: Award Category, Recipient Name, District, and Recipient Name. Includes categories like '九州地区スポーツ推進委員功労者表彰' and '福岡県スポーツ推進委員感謝状表彰'.

令和元年度 福岡市スポーツ推進委員新任者一覧

東 区	西戸崎	有吉 美樹	和 白	井上 俊一	和 白	丸山太久美	和 白 東	平川 岳人
	若 宮	山口 新	城 浜	太田 将幸	城 浜	川見 圭起	松 島	古賀 鉄也
	松 島	大石 康弘	東箱崎	中本 和孝	筥 松	中村 和城	三 苫	堺 達也
	三 苫	渡邊航一郎	勝 馬	日下部法子				
博多区	冷 泉	加藤慎一郎	奈 良 屋	松尾 映子	東吉塚	長嶺 雅透	堅 粕	相島 深雪
	東月隈	水城 忠将						
中央区	笹 丘	平野 祥隆	春 吉	戸原 康博	春 吉	沼瀬 正二	舞 鶴	鳥生 和弘
	福 浜	丸山 貴聖						
南 区	西高宮	末吉 直希	日 佐	岳 順一	長 住	荒尾 加奈	西長住	平田 崇
	老 司	井上 美恵	筑紫丘	福永 順子	弥 永	合原 周一	弥永西	新飼 祐規
	弥永西	堀江 和枝	鶴 田	新川 幸恵	野多目	待鳥 冴香	塩 原	石川 芳子
	大 池	内野 利恵	柏 原	金子 奈美	横 手	高原 二葉		
城南区	別 府	岡本 恭子	片 江	中嶋 和之	田 島	池田 孝司	堤 丘	濱松美智江
早良区	百 道	岡本 巧	百道浜	権藤 英樹	小田部	御供田智彰	原 西	本田 直樹
	原 西	加賀 努	飯 倉	川添 隆一	賀 茂	岡 繁治	有 住	森 和弘
	田 隈	野瀬 秀弘	田 村	皆芳 歩	四箇田	村上 司郎	脇 山	永石 英明
	内 野	小松 徹						
西 区	壱 岐	山崎登志也	壱 岐	結城 美香	能 古	三原 高志	今 宿	中島 清
	周船寺	大神 俊生	元 岡	中村 重一	北 崎	檜崎 康隆	北 崎	田代 浩恒
	西 陵	原田 聡	福 重	三苫 志弘	玄 洋	天野 好輝	西 都	堀 真太郎

～ 新任スポーツ推進委員の声 ～

質 問

1. あなたがスポーツ推進委員になるうと思っただききっかけは何ですか。
2. あなたが今年見たスポーツで特に印象に残っているものは何ですか。
3. あなたが子どもたちにスポーツを指導するとき一番心がけたいことは何ですか。
4. あなたのスポーツ推進委員としての夢や抱負を聞かせてください。

東区 城浜館区 太田 将 幸

1. 校区の会長にお願いされたため。
2. ラグビーW杯でのスコットランド戦での稲垣選手のトライ。
3. とにかくスポーツを楽しんでもらう事。
4. いろいろなスポーツに携わり多くの人にスポーツの素晴らしさを知ってもらおう事。

博多区 冷泉館区 加 藤 慎一郎

1. 特にならうとしたわけではなく、地域の方々に頼まれて
2. ラグビーワールドカップ
3. 気持ちのON、OFFの切り替えや、礼儀、仲間の大事さ
4. 夢など特にありません

中央区 春吉館区 沼瀬 正 二

1. これまでも地域の青少年健全育成に携わってきており、自治協会長の薦めもあって決めた。
2. 卓球男子で東京五輪代表の張本選手が、1月の全日本選手権の決勝で大接戦の末負けたシーン。
3. 個性に合わせて楽しさを教えることです。
4. その地域に合ったスポーツに取り組み、〇〇と言えば「春吉」と呼ばれるようになりたい。

南区 日佐館区 岳 順 一

1. 同校区の推進委員の方から、いろいろなスポーツが体験できると誘っていただいたからです。
2. 渋谷日向子プロの全英女子オープン優勝です。最後のパーティーパットは鳥肌ものです。
3. 技術より礼儀が基本であることを教えています。自分から挨拶するよう指導しています。
4. 研修で学んだことを校区に持ち帰り、新しいイベントが開催できるようにしたい。

城南区 田島館区 池田 孝 司

1. 町内のスポーツ・レクリエーション部の部長から依頼されたため。
2. ラグビーワールドカップ日本代表稲垣選手のトライ。
3. けがをさせないことは当然ですが、子どもは継続して練習すれば必ず上達する。
4. 私の活動により、校区の方々の親睦やスポーツ活動にプラスになればと思っています。

早良区 田村館区 皆 方 歩

1. スポーツ推進委員や体育振興部の皆様からの熱い要望を頂いたからです。
2. ソフトバンクホークスの4連勝での日本一。選手の絆と強い信頼関係を感じました。
3. 仲間やチームワークの大切さと、スポーツの前後の体操やストレッチです。
4. ルール・審判の仕方を覚え、相手とイベントを企画し、多くの方に参加してもらえる地域づくり。

西区 西陵館区 原 田 聡

1. 前任の方が長く熱心にやられていて、活動の話などを聞いて自分も携われたいと思いました。
2. ゴルフの渋谷選手のメジャー優勝。子どもと同じ世代なのでごく感動しました。
3. 子ども達は予測不能な動きをするので、極力けが等の予防を心がけます。
4. 時代に合ったスポーツ推進のやり方を皆さんと共に自分のできる範囲でやっていきたいです。

第55回福岡県スポーツ推進委員研修大会への道

～福岡市スポーツ推進委員が One Team でおもてなし～

令和元年12月8日（日）に、福岡国際会議場において、第55回福岡県スポーツ推進委員研修大会が開催されました。今年は福岡市がホストとなり、県内各市町村のスポーツ推進委員のみなさまをお迎えしました。研修委員会が中心となって、運営委員会や実行委員会を何度も重ね、当日に向けた準備を進めてきました。今回は研修大会への道と題して準備の舞台裏をご紹介します。

■むずかしか～！「スポーツ共創体験」の種目づくり

令和元年10月20日（日）、香蘭女子短期大学において、研修当日に実施する「スポーツ共創体験」の種目づくりに取り組みました。福岡市の各区から選抜された精鋭がそろってまずは「キーワード」の書き出しから。

書き出したキーワードをまとめながら、新種目のイメージを作っていました。



このキーワードからどんな種目ができるかな？



「床ボルダリング」
安全に配慮して



「玉さばカーン」
使う玉は手作り



「声華麗リレー」
紆余曲折ありました

「あーでもない、こーでもない」と試行錯誤を繰り返していましたが、香蘭女子短期大学の中村洋子准教授の温かく、かつ的確なアドバイスをいただきながら、次第に種目の形ができてきました。

また、11月24日（日）開催の後期中央研修会で、推進委員の皆さんに体験してもらい、当日の説明や進行手順に磨きをかけていきました。

■いよいよ明日ばい！ 前日準備・リハーサル

研修大会前日の12月7日（土）の午後、150名を超える推進委員が集まり、配布物や会場の準備、そして当日の進行を確認するリハーサルを行いました。15時からリハーサルをする予定が、準備に手間取りなかなかスタートできませんでしたが、何とか準備も整い、いよいよ本番を迎えるだけとなりました。



配付物の封入作業



会場の表示等の準備



舞台でのリハーサル

■いよいよ本番！ 第55回福岡県スポーツ推進委員研修大会当日

今回の研修大会は、福岡県内の各市町村のスポーツ推進委員や福岡県議会議員など873名の出席者をお迎えし、盛大に開催されました。開場と同時に各市町村の色とりどりのウェアを着たスポーツ推進委員が入場され、福岡市のスポーツ推進委員は駐車場整理や受付、座席の案内など、各区の役割分担に基づきおもてなししました。



受付担当の東区は大忙し



整列してお出迎えしました



博多区のみなさんは、寒い中会場の外で誘導お疲れさまでした



表彰式典では大曲副知事より受賞しました



東京オリ・パラのマスコットをデザインした谷口亮さんのインタビュー



昼休みは、女性委員のみなさんによる博多どんたく祝い唄でおもてなし



ステージ上では、3グループに分かれて自分たちで作った種目を実施



講師と一緒に健康体操、早良区の皆さんがステージで模範演技

今回の研修大会は「みんなで描こう、福岡式スポーツ・レクリエーションの未来！」をテーマに開催され、午前中は、東京2020オリンピック・パラリンピックのマスコットキャラクターを制作された谷口亮さんのインタビューや、「スポーツ共創体験の種目づくり」でご指導を頂いた中村洋子先生の基調提案が行われました。

昼休みには、女性委員会による博多どんたく祝い唄と博多にわかで大いに盛り上がりました。

午後からは、3グループに分かれて体験型研修が行われました。ステージ上では「スポーツ共創体験の種目づくり」の3種目、会場後方ではマルチチューブを使った健康体操、会場外のロビーでは福岡県レクリエーション協会と福岡市スポーツ協会が協力してレク式体力チェックやアドバイスの仕方の体験が実施されました。

福岡市スポーツ推進委員全員の力を結集して、盛会の内に研修大会を終えることができました。各区の皆さん、本当にお疲れさまでした。今回の研修で得た経験を生かして、これからも地域スポーツの振興に向けて頑張っていきましょう。



中央研修会

前期

東区 東箱崎館区 泉 啓文

4月4日(木)福岡市役所15階講堂にて、前期中央研修会が開催されました。平成最後の今回は、「福岡市のスポーツ振興」「スポーツ推進委員の役割」の題目でのグループ討議形式でした。特に後者において私たちが住む「校区」について様々な質問が投げかけられました。①人口は？高齢者の割合は？小学校の規模は？②運動やスポーツができる場所はどこか？③そこではどんな人がどんな時間帯で活動しているか？④どんなスポーツ関係団体や健康づくり関係団体があるか？⑤どんなスポーツイベントがあるか？④については体育協会の一員として平日頃公民館の活動等での横の繋がりで把握できてます。が、他の関係団体において総会等での活動報告はあっても事細かな活動内容については殆ど知りえない自分に気付かされました。⑤については主催団体として言わずもななです。②・③については場所は知っていても、そこがどのように活用されているかまではわかりませんでしたし、④に通じるところがあるのではないかと思います。そして①です。自分の校区については知ってはいても漠然としたものですが、グループ討議の中では、人口・規模等を具体的な数値を挙げて発表される委員の方、他関係団体の活動等も具体的に発表される委員の方もおられました。まずは自分が住んでいる校区・他関係団体の活動をしっかりと知ることが大切であると感じさせられました。まさに目からウロコ状態でした。まとめとして、スポーツ推進委員には、スポーツの実技指導はもとより、スポーツ事業の企画についての指導・助言、地域スポーツ団体間の連絡調整、地域と行政とのつなぎ手等の役割が求められています。最後にスポーツとの関わりを通して、充実した市民生活と活気あふれる地域社会を実現する旨のスポーツ振興計画の理念の発表を持って研修会を終えました。

この研修会で身に付けたものや感じたことを今後のスポーツ推進委員の活動に活かし、より充実したものになりたいと思いました。

後期

南区 宮竹館区 飯田 雅文



後期中央研修会は、11月24日(日)福岡市中央体育館で行われました。今回の目的は、第55回福岡県スポーツ推進委員研修大会で行う「床ボルダリング」、「玉さばカーン」、「声華麗りレー」を福岡市の推進委員が体験することでした。これらの種目は、2019年10月に香蘭女子短期大学の中村洋子准教授を講師に招き開催された「スポーツ共創」の研修会で我々の仲間の推進委員が作ったものです。その研修に参加された方の話では用具、競技方法、ルールなどは無く、試行錯誤しながらアイデア出す事から始まったそうです。

最初に体験したのは「玉さばカーン」でした。中央にフラフープを置きその中に五人が入り丸めた新聞紙を5人の輪の中に入れる玉入れに似たとてもシンプルで大人から子どもまで楽しく出来そうな種目でした。

次に体験した「床ボルダリング」は、床に置いた手と足の形に合わせて水平に移動してタイムを競う少し柔軟性と少し体力を要した種目でした。

最後に体験した「声華麗りレー」は、椅子に座り「都道府県名」といったお題を与えられそれに答えた後に聖火に見たミニコーンでボールを受け渡すという頭で考えながら体を動かす種目でした。

今回の研修で感じたことは、今までの種目はすでに細かなルールなどは決められていたりして体験したり見たりするだけだったのですが、今回の3種目は新たに自分達でコミュニケーションをとりながらやり方を考え出し、種目を楽しめるといったものでした。これも1つの方法だとすごく新鮮に感じられました。

今回の研修で学んだことを館区に於いても実施し、誰もが楽しんでもらえるようなことを取り入れて、地域のコーディネーターとして活動していきたいと思えます。

区別研修会

前期

博多区 美野島館区 田中 茂



令和元年6月8日(土) 堅粕小学校体育館にて前期区別研修会を実施しました。

博多区では、バスタボンの実技の向上と審判育成を目標に研修が行われました。

始めに参加者を4グループに分け、各チームで主審、副審、選手に振り分け、試合形式で試合前の整列から挨拶、練習時間、選手交代や試合の中での反則等を確認し指摘しながら、研修が進められました。

主審をやって感じたことは、反則やミスで相手に点数が入るのは分かるようになりましたが、反則の名称やジャッジ等に苦勞しました。

研修が終わって約1か月後に行われた博多区バスタボン大会では、推進委員の皆さんがスムーズに試合を進められているのを見て、研修の成果が出ていて良かったと思いました。

個人の課題として、競技をすることは楽しくできますが、推進委員として校区や地域の皆さんにスポーツをする楽しさを伝えられていないので、今後は研修で学んだスポーツの魅力を地域の方々に伝えられるよう、スポーツ推進委員として努力していきたいと思ひます。

後期

城南区スポーツフェスタ ～後期区別研修会の研修を生かして～

城南区 日高 政治



我々城南区のスポーツ推進委員は、令和2年2月16日(日)に城南区体育館において行われる「城南区スポーツフェスタ」に向けて、2週間前の2月2日(日)に鳥飼小学校において、どのようにすれば地域の皆様に楽しんでもらえるのか、研修を通して考えていきました。スポーツ推進委員が日頃から研修等で得ている知識をもとに、校区でも実施可能なニュースポーツの普及・発展を促進するために、例年この時期に実施しています。

今年の「城南区スポーツフェスタ」も、城南区11校区から、それぞれ大人10名と小学生10名ずつ、総勢220名参加していただき、スポーツの楽しさ、体を動かすことの喜びを実感し

てもらふことができました。

前半の部では、「わいわい体力測定」と称して4項目を考えていましたが、特にその中でも“棒バランス”や“棒反射”が小学生には新鮮だったようで、大きな声をあげながら楽しく盛り上がっていました。

また、後半の部では、今年のスポーツ交歓会で紹介された「ふらばーるバレーボール」を行いました。スポーツ推進委員の皆さんにはおなじみのスポーツですが、地域の皆様にとってはほとんどの方が初めての経験で、「こんなスポーツがあったんですね～」と驚きの声が上がっていました。随所に珍プレーや好プレーが続出し、笑いあり雄たけびありの、大変にぎやかな大会となりました。

最後に、参加した皆さんから「とても良い汗を流すことができました」という喜びの声をいただき、我々城南区のスポーツ推進委員が心一つにしてこのフェスタを成し遂げたことは、とても意義深いものだったと感じています。

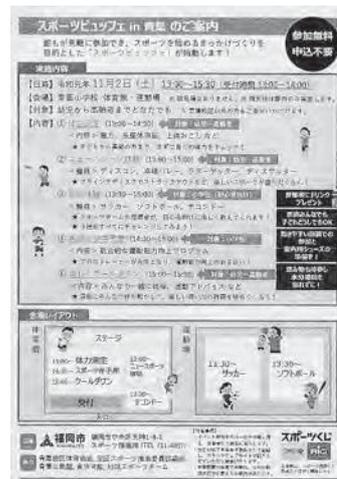
スポーツビュッフェ・プロジェクトが始まりました!

「スポーツと出会い、一歩踏み出すきっかけを提供する」ことをスポーツ推進委員としてどのように関わっていくのか? 11月2日(土)青葉小学校で初めてのスポーツビュッフェが開催されました。

開催の2週間前 10月17日には関係団体「地域スポーツチーム(サッカー・ソフトボール・テコンドー)・東体育館・青葉公民館・校区体育協会・市スポーツ協会・市スポーツ推進課・区地域支援課・東区スポーツ推進協議会」の打ち合わせがあり当日各ブースの動き、進め方や安全対策徹底の確認、アンケートとスタンプカードの確認などが行われました。

青葉小学校児童数およそ800人に案内を配布し、公民館等に声掛けをお願いし、当日を迎えました。

13時受付開始とともに、多くの高齢者、子供連れのご家族、小学生たちが受付に並びスポーツ推進委員の誘導のもと、各ブースでスポーツを体験することが出来ました。



受付時、体力測定記録表を配布し、スポーツ推進委員が測定員となり、一人ずつ丁寧な説明を行い実施しました。



体力測定終了後、ニュースポーツや各種目に分かれて体験へ



最終受付 14時の段階でおよそ200の方が参加されていました。

体力測定の結果に従いスポーツ協会指導員と東体育館スポーツトレーナーの方が専門的なアドバイスを一人一人に行いました。



受付業務から体力測定の説明と測定員、ニュースポーツの説明と審判、各地域スポーツチームへの参加者の誘導とスポーツ推進委員の役割は大変多く、人手が足りないと感じました。

ただ 参加された方々の笑顔や歓声に接すると今までの研修会で培ったノウハウを地域に還元している実感が湧いてきました。スポーツビュッフェは、私たちスポーツ推進委員にとって新たな活躍の場となるのではと思います。

スポーツ交歓会

福岡市スポーツ交歓会を終えて

早良区 小田部館区 原 聖

今年度当番区の早良区は、市内7区の内、人口4番目ですが、エリアは湾岸部の百道浜方面から、背振の自然の山々がある南部の曲渕まで、面積では最も広い区であります。



5月12日(日)、その早良区のほぼ中央に位置する早良体育館にて、令和初のスポーツ交歓会を実施しました。

今回はディスコンとフラバールバレーの2種目を行いました。ディスコンは、ニュースポーツ研修会でも実施され馴染みがありますが、フラバールバレーについては、大多数の方が初めての体験ではなかったかと思えます。

ディスコンは、赤・青色が裏表になったディスク12枚とポイント1枚を用意し、赤と青のチーム各々が6枚のディスクを投げ、どちらがよりポイントに近づけるかを競うスポーツで、老若男女共々楽しむことができます。因みにディスコンの由来は、ディスク(円盤)とコントロールを合成して名付けられたそうです。コントロールが難しく競技中偶然にディスクが裏返ってしまい、いきなり相手優勢になったり、あるいは狙ってディスクやポイントはじいて形勢逆転を狙ったりすることもでき、戦略を考えて進めるスポーツでもあります。本来早く7点獲得したチームが勝ちとなりますが、今回は時間の都合上インニング数を制限しました。

フラバールバレーは、9人制バレーのルールを基本とし、フラバールという三日月型の変形ボールを使用し、ラリー中レシーブは必ずワンバウンドさせて受ける特徴があります。但し、サーブはノーバウンドで受け1回で返せない事や、ラリー中3回で返すまでに同じ人が触れない等の特別ルールがあります。一見簡単そうですが、いざやってみると、変形ボールはラグビー同様バウンド後は思わぬ方向に飛んで行くし、何故か1度触った人に飛んで来たり、自分の方に飛んで来たボールは判っていないながら、ついノーバウンドで触ってしまったりと、皆で大声をかけても色々失敗をしでかしてしまう、それらが又愉快的なスポーツなのです。

この交歓会では、特にフラバールバレーの方は若干早良区ルールも入れましたが、以外にも運動量は激しかったものの、時間制限も設けた為、丁度良かったと好評でした。全参加者は約90名、各区から参加の約10数名を2チームに分け、両競技を3チームのリンクリーグ戦で行いました。担当の早良区は競技には参加せず、当日は審判や人数不足チームの選手補充など運営に専念しましたが、皆さんを「おもてなし」できるように、事前に研修会を数回実施して備えました。

優勝は、ディスコンが東区、フラバールバレーが南区という結果で、ホスト区としての「おもてなし」にはご満足頂けましたでしょうか？

ディスコンで頭脳を使うもよし、フラバールバレーで汗を流すもよし、是非皆さん広めてみて下さい。

ニュースポーツ研修会

中央区 舞鶴管区 鳥生和弘

6月16日(日)に中央体育館でニュースポーツ研修会が開催されました。準備運動から始まり、レクリエーションとグループ分けが行われました。今年は新任の方もたくさんいるということで、お互いに打ち解けるために、列の前後の人と肩たたきをしたり、握手をしたりしながら、自己紹介をしてまわる競争をしました。体と気持ちがほぐれたところで、8グループに分かれ、研修に入りました。

研修種目は「バスタボー」「五日お手玉」「ラダーゲッター」「ディスクゲッター」「ダーツ」の5種目でした。私も新任で、ダーツ以外はすべて初めて体験する種目でした。各種目とも、最初に担当の指導員から簡単なルール等の説明を受け、あとは実際にプレーしながら、こんな時はこういうルールがあります。のように習いながら進めていきました。「五日お手玉」「ラダーゲッター」「ディスクゲッター」「ダーツ」は、どれも一定の距離からの的に向かって物を投げるタイプの種目で、あまり体力もいらず、老若男女楽しめると感じました。



独自取材 目指せ！ オリンピック・パラリンピックに向けて ～ 輝け！未来のアスリートたち ～

世界での活躍が期待される福岡ジュニア2人を紹介します

竹谷美涼選手
Misuzu Takeya



2008年4月生小5、福岡県出身。初喜TTC（福岡）所属
2019年度ホープスナショナルチーム選出
兄が卓球をしている姿に影響を受けて卓球を始めた。
両親ともに元卓球選手、現在、母親が監督を務める
初喜TTC（福岡）チームでプレー中です。
全農杯2018年全日本卓球選手権カブ（小4以下）の部で準優勝し、次世代のポスト伊藤平野早田世代として活躍が期待。
2024年パリ五輪、2028年ロス五輪出場を目指す。
趣味：絵を描く事、プロレス観戦（資料：RIGHTS提供）



得意のバックハンド



強烈なスマッシュ

↑第59回（2020年）大阪国際招待卓球選手権大会ホープス女子（小6以下）の部で優勝

高橋花菜選手
Hana Takahashi



九州産業大学付属九州高校2年（ショートトラック選手）
日本スケート連盟スピードスケート・ジュニア強化選手
全日本ジュニアカップ選手権大会・ジュニア総合5位
父のアイスホッケーの影響で幼少からスケートを覚え、
ショートトラックは小1から、小3で競技に参加した。
今年度、青森国体、イタリアでの世界大会に出場。
夢は世界ジュニアに出場し、北京冬季五輪を目指します。
「競技の魅力は最後まで誰が勝つかわからない。その場の
対応力が大切」と述べた。



練習は男性達と行います

Hakata 伊 noKura（父親の店）にて取材（写真：グラフふくおか No.597 より）

私たちスポーツ推進委員が体力測定の協力をしている福岡県タレント発掘プロジェクトの紹介

ここでも、私たちの近くに参加されたお子さんがいました。私たちは地域に眠っている輝く原石を見つけたいものです。（未来のアスリートを育てる事業として、小4～中3対象に能力の開発を実施）

プロジェクトの3つのプログラム（週1回アクション福岡で実施）

- (1) 「見つける」・・・セレクトプログラム
- (2) 「育てる」・・・能力開発・育成プログラム
- (3) 「活かす」・・・パスウェイプログラム



競技団体の協力により、普段は体験する機会が少ない競技も含め実践しながら、自分の可能性が活かせる競技を探っていきます。

↓タレント発掘事業の紹介ホームページはここを見て下さい↓

<https://fukuokasportstalentidproject.blogspot.com/>

↓能力開発・育成プログラムで体験する競技例です



プログラムに参加された母親のコメント

保護者もサポートプログラムがあり食事や体のケア、メンタルサポートなど知識学習がある。スポーツ面だけでなく全ての体制や周りのサポートへ感謝する精神教育もある。プログラムの参加まで1～3次選考があり、年々、選考倍率が上がってきている。
私の娘は、球技大会での活躍がスポーツを頑張るきっかけになった。将来は、この娘が地域の中で活躍できる地域貢献のチャンスが欲しいと嬉しい提案も頂きました。
（西区：Mさん、現在バレーボールで世界を目指す）

校 区 訪 問



東区

香椎浜

加藤 光男

香椎浜校区は、東区中央北側にあります。古くは香椎潟のなかに位置しており、昭和58年城浜団地北側の埋め立てによって誕生した校区です。

香椎浜校区は、世帯数は約2,900世帯、人口約5,900人香椎浜小学校の児童数は2018年で303人となっています。

香椎浜校区は、春は小中学校の運動会が2週続けて行われ、夏には、校区夏祭りで賑わい、特に諸先輩方によるひよっこ踊りが好評です。秋に文化祭が行われ地域全体でふれあい初春の3月最終土曜日には、竹筒に灯を灯し校区メイン通りとなる桜通り沿いに並べる灯明祭りが行われ、桜の開花にも左右されますが、幻想的な世界に導かれます。

又校区スポーツイベントは、5月のカラーリングに始まりソフトボール・ママさんバレーを行います。年々高齢化が進む中、参加者が激減している状況の中で、ママさんバレーは3年前より校区大会は年齢制限を排除しソフトボールは、今年より女性も参加出来る様な形をとり、校区全体でスポーツを楽しもうと工夫しています。

従来通り秋のグランドゴルフ大会は好評ですが、2020年東京オリンピックも開催される事から、昨年よりポッチャを校区に取り込み、今年初めての校区大会を開催しました。結果思いのほか好評で参加者からは、来年度の継続開催要請が出るほどでした。

校区の皆様方が、健康であるようにお手伝いをさせて戴いています。

香椎浜校区は、市、区と比べてみても圧倒的に高齢化が進む地域です。よって開催するスポーツイベントも、その処を組み込んだイベントに意識付けを行っていききたいと思います。



西区

西都

真崎 優子

西都校区は今宿と周船寺の間に広がる田園地帯にある校区で、2017(平成29年)4月、西都小学校の開校と同時に発足しました。校区内のほぼ中心部を東西に走るJR筑肥線に九大伊都キャンパスの移転に併せて、2005(平成17年)9月、九大学研都市駅が開業しました。近年、人口増の伸びは落ち着きましたが、昨年(2019年)11月末現在の人口は、1万638人(4,550世帯)に達しており、西都小学校の児童数は開校3年目にして、昨年、千人の大台を超え、今後も毎年、200人以上が入学することが予想されるため、市教委は、3年後の令和5年4月に小学校を分離新設することとしています。

さて、西都校区には徳永町内会、女原自治会、西都自治会の三つの自治組織があり、小学校の開校と同時に自治協議会を立ち上げました。自治協議会には、総務企画、交通安全、防犯・防災、子ども会・青少年、環境活動、健康衛生、スポーツ振興、男女共同参画の8部会があり、それぞれ公民館と協力しながら年間を通じて校区住民が参加できる事業を実施しています。このうちスポーツ振興部会では、毎年秋に、今津運動公園で開催される西区スポーツフェスタに参加しており、初出場のペタンクが女子の部で優勝したのをはじめ、年々、各競技種目とも健闘しています。さらに2018年度西区親善インディアカ大会では、幸運にも恵まれ、男子が優勝することが出来ました。また、校区住民の親睦を図る行事として10月下旬に校区スポーツフェスタを開催しています。フェスタは、未就学児から高齢者まで多くの住民が参加して楽しめる行事になるよう工夫を凝らしており、午前中は綱引き、大縄跳び、玉入れ、グラウンドゴルフなど、午後は公民館サークルなどのパレードで幕を開け、靴飛ばし、バケツリレー、むかで・二人三脚リレー、フラフープリレーなどの競技に続いて、町内対抗リレーで盛り上がり、最後は大抽選会で幕となります。

地域住民コミュニティの場として、校区発足と同時に設置された西都公民館(他校区では校区設立後、3年目に開設)は、小学校体育館1階にあり、自治協議会の各部会の会合やサークル活動の場として大いに利用されています。近くにお出での機会がありましたら、ぜひ、公民館に立ち寄り、交流を深めていただきましたら幸いです。





頑張ってます

女性スポーツ推進委員



女性スポーツ団体セミナー

南区三宅館区 貞方量子

9月9日(月)にあいれふで行われた福岡市女性スポーツ活動団体連絡協議会の自主研修会に参加しました。「今からでも間に合う!目からうろこの食生活~1日でも長くスポーツを続けるために~」のテーマで行われました。

一番印象に残ったことは、「食物繊維を毎食両手のひら一杯分摂取すると、大腸を刺激し排便を促進する」という野菜の量に驚きました。高齢の家族を思うと不足していると反省しました。

食品カテゴリーマップ(食品を栄養成分の違いによって7つに分類してあり、簡単に栄養成分を知ることができる食事管理に役立つツール)を使って、食品の重複しない食べ方や食品の選択力の大切さを知りました。1日30品目の摂取はこのマップを見れば簡単なので、カテゴリーが重複しないバランスの良い食事を目指したいと思いました。普段の食事を振り返る有意義な時間を過ごせました。

編集後記

文責: 広報委員長 佐々木 一人

今年2月から新型コロナウイルスの影響で、多の人が集まる行事や会議等はしばらく中止や延期を余儀なくされました。これも次世代への継承として歴史に刻まれることになりました。

さて、スポーツ(Sports)の語源はラテン語の「deportare」で、「日常生活から離れて気晴らしをしたり、何かを楽しむ」ことです。スポーツには「人と人とを結びつける力」があるとよく言われます。人と人、過去から現在そして未来へと、たくさんの人々がスポーツに関わっていく中で、素晴らしいシーンを生み出して感動を与えます。そういった意味で今年の東京2020オリ・パラがとても楽しみです。オリ・パラで盛り上がっている今年、新しいスポーツにチャレンジするもよし、継続するもよし、また競技場やテレビで観戦するもよしとにかくスポーツに関わって、大いに盛り上げていきましょう。今後福岡からも多くのトップアスリートが誕生することでしょう。私たちスポーツ推進委員としても明るい未来に貢献できることを願います。

福岡市スポーツ推進委員だより 第79号

発行日 令和2年4月1日
発行者 福岡市スポーツ推進委員協議会
〒810-8620 中央区天神1-8-1
(福岡市役所スポーツ振興課内)
発行責任者 広報委員長 佐々木一人
印刷 株式会社 津村愛文堂